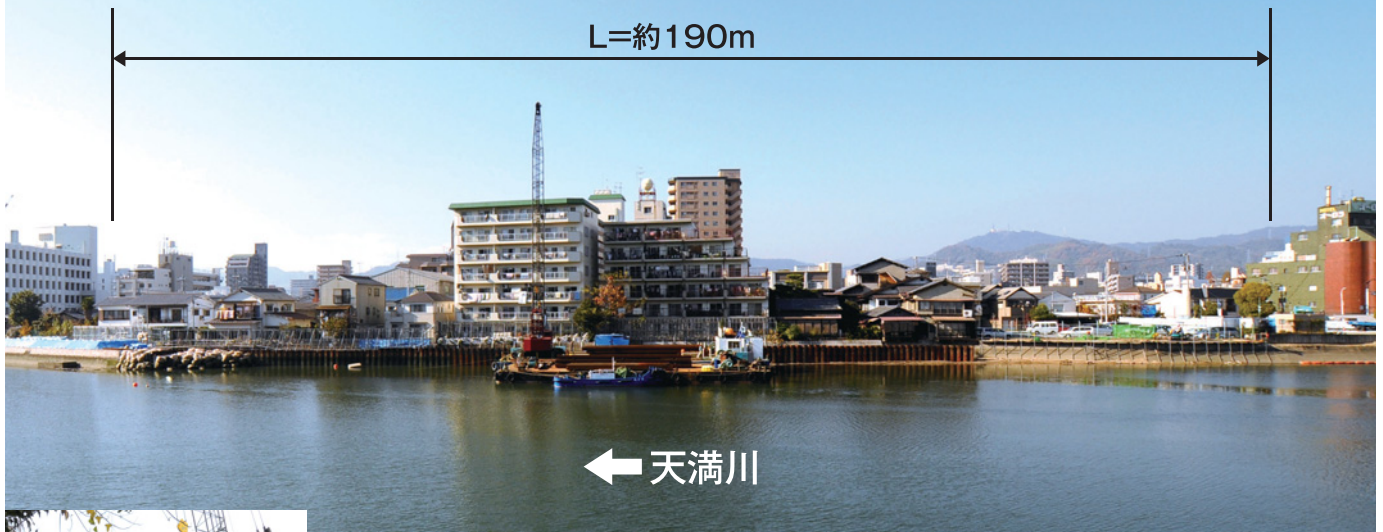




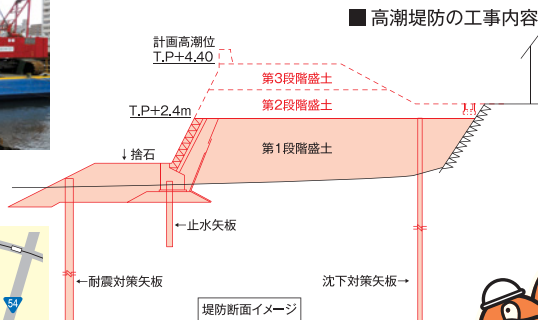
## 「天満川観音高潮第2堤防工事」進行中!



天満川に沿って高潮堤防の工事が進められている観音地区



沈下対策矢板の施工の様子  
(平成22年12月9日撮影)



■ 高潮堤防の工事内容

安全や財産を守るための大切な事業だよ!



業を推進しています。度災害防止区間を設定し、重点的に事業を進めています。生しても浸水被害が発生しないよう再度災害防止区間を設定し、重点的に事業を進めています。は広島市街地に大きな高潮浸水被害をもたらしたため、同規模の高潮が発生しても浸水被害が発生しないよう再度災害防止区間を設定し、重点的に事業を進めています。年より「高潮対策事業」を実施しています。平成3年9月に発生した台風19号は広島市街地に大きな高潮浸水被害をもたらしたため、同規模の高潮が発生しても浸水被害が発生しないよう再度災害防止区間を設定し、重点的に事業を進めています。

### 街を浸水被害から守るために「観音地区高潮対策事業」を実施

観音地区は平成16年の台風18号でも浸水被害が発生した地区ですが、被災当時万一、満潮と台風通過が重なっていたら被害はさらに拡大したと予測されています。工事箇所は、軟弱地盤のため、周辺地盤に影響がないよう沈下対策矢板を設置し、また地震で堤防が壊れないよう耐震対策矢板の設置も併せて実施しています。

矢板工事が終了後に、盛土工事を実施するため、工事用車両の通行などがあります。引き続き皆さまのご協力をお願いいたします。

はやく安心して暮らせる街になるといいね



平成16年の台風18号による観音地区の浸水被害

みなさんの生命と財産を守ります

# 「広島西部山系直轄砂防事業」の推進

太田川河川事務所では平成11年6月29日の土砂災害を契機に、広島市、廿日市市、大竹市の3市にまたがる地域で、広島西部山系直轄砂防事業を実施しています。

この地域は山すそまで宅地化が進み、人口や資産が集中しています。また、国道やJＲ山陽新幹線、山陽自動車道等の交通網が横断しているなど社会的に重要な地域であることや、マサ土と呼ばれる砂質土に覆われているなどの特徴を持っており、昔から土砂災害が多い地域となっています。

## 平成11年6・29災害

中国地方に停滞した梅雨前線による豪雨により広島市、呉市を中心に広島県内で、土石流災害139件、がけ崩れ災害186件が発生しました。これにより、24人が死亡、14人が負傷したほか、全壊64棟、半壊74棟の家屋被害が発生しました。



このかわ  
土石流が氾濫した古野川(広島市佐伯区)

## 完成に向け工事を進めています

平成22年度は、中野地区(広島市安佐北区)、武田山地区(広島市安佐南区)、宮内明石地区(廿日市市)など16地区で砂防事業を推進しており、11月末現在で川角2号砂防堰堤など3基の砂防堰堤が完成しています。



堰堤背後の埋め戻しが進む中野2号砂防堰堤工事(広島市安佐北区)



流木捕捉工の整備が進む四季が丘7号砂防堰堤工事(廿日市市)

## 平成22年度に完成した砂防施設



土石流をせき止め、みんなの命や家、道路を守ります。



武田山2号砂防堰堤(広島市安佐南区 6月完成)



川角2号砂防堰堤(広島市佐伯区 5月完成)



宮内5号砂防堰堤(廿日市市 6月完成)

太田川河川事務所では平成22年11月末現在で32基の砂防堰堤を整備して管理しています。

**第8回** 今後30年間の整備計画を議論  
**「太田川河川整備懇談会」を開催**



懇談会の様子

太田川の河川整備の方向性について各分野の学識経験者からご意見をいただく「太田川河川整備懇談会」が11月19日に開催されました。

標や整備内容をまとめた「太田川水系河川整備計画（原案）」について、さまざまなご意見をいただきました。懇談会でのご意見を反映した原案は太田川河川事務所ホームページ等で公開しており、11月29日～12月28日まで住民の皆様からのご意見を募集し

今回は、今後おおむね30年間に太田川水系で実施する川の整備目標や整備内容をまとめた「太田川水系河川整備計画（原案）」について、さまざまなご意見をいただきました。懇談会でのご意見を反映した原案は太田川河川事務所ホームページ等で公開しており、11月29日～12月28日まで住民の皆様からのご意見を募集し



原案の公表にあわせ、住民意見をうかがう「太田川住民意見を聴く会」を広島市と安芸太田町など8箇所で開催しました。写真は、12月6日の安芸太田町での様子です。たくさんの貴重なご意見をいただきました。

ました。今後、意見を集約の上、「太田川水系河川整備計画（案）」を作成し、再度懇談会で示します。懇談会等の情報はホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

**「太田川生態工学研究会」を開催**

太田川放水路の自然を守るために

12月8日、アステールプラザに140名の参加者を集めて、旭橋下流の太田川放水路に造成した人工干潟におけるモニタリング調査の報告と意見交換を行う「太田川生態工学研究会 研究発表会」を開催しました。この研究会では、海水と淡水が混じり合う汽水域において環境の保全や再生を目指して各分野の研究者が手を組み、調査・研究を

行っており、造成から約8ヶ月経過した人工干潟での貴重なカニなどの生息が発表されました。今後も引き続き調査・研究を行い、より良い干潟環境の保全、再生を目指します。



太田川生態工学研究会研究発表会の様子

**第2回** 小瀬川の現状を視察  
**「小瀬川河川整備懇談会」を開催**

11月16日に第2回「小瀬川河川整備懇談会」を開催しました。今回は、小瀬川の現状把握を目的に、委員9名による現地視察を行いました。

また、現地視察終了後には、住民アンケート結果の中間報告も行われ、小瀬川の治水、環境、維持管理に対する意見について報告されました。今後は、住民アンケートのとりまとめを行い、小瀬川（国管理



現地視察の様子

区間で実施する整備箇所や整備内容をまとめた「小瀬川水系河川整備計画（原案）」を作成していきます。

大竹市本町・新町地区の皆様と  
**出前講座**  
**「小瀬川の明日を考える」を開催**

11月6日、大竹市本町・新町地区の「地域を守る会」主催のもと、地域住民の方々31名の参加による出前講座を行いました。講座は、「治水」にスポットをあて、小瀬川の洪水に対する実力、これまでの治水事業、今後必要な治水対策などについて説明を行いました。住民の皆さんからは、多発するゲリラ豪雨などに備えた自主防災組織活動の輪を広げる必要



講座には地域の方31名が参加  
 ポスター作成:大竹市在住の主婦 福中さん他

太田川河川事務所では、河川や砂防に関する出前講座にお応じます。お問い合わせは当事務所総務課 ☎082-221-2436まで。

## 平和のメッセージを発信 「フーベル平和賞受賞者世界サミット」 歓迎イベント

11月11日、広島市で開催される「フーベル平和賞受賞者世界サミット」を歓迎する市民団体主催のイベントが、元安川の原爆ドーム対岸の親水テラスで行われました。イラストレーター黒田征太郎さんがトランプ奏者の近藤等則さんの演奏にあわせてライブペインティングのパフォーマンスを行いました。1.5m四方のキャンバスに、きこの雲の絵や「NO」「生きよう」の文字を何度も塗り重ね、最後に「YES」と書いたパネルを張り付けて平和への願いと決意を表しました。



原爆ドームを前にライブペインティング

## キジの声が響く豊かな環境に 小瀬川河川敷でキジを放鳥

10月28日、大竹市立穂仁おにわら原小学校の児童7人が、小瀬川の河川敷「穂仁原子どもの水辺」でキジ8羽を放ちました。広島県猟友会のとりくみとして実施され、児童が段ボールのふたをひもで引いて開けると、キジは斉に飛び立ちました。キジが近くの山や河川敷にすみつき、「ケーン、ケーン」という鳴き声が聞こえてくる日を子どもたちは心待ちにしています。



放鳥され飛び立つキジ

## 自転車やテレビも… 内水面漁協が清掃活動

11月15日、広島市内水面漁業協同組合が本川・元安川の北大橋から西平和大橋・明治橋まで、猿俣川の広島駅前西高架橋から東大橋付近までの範囲で清掃活動を実施しました。流木等の木くずやペットボトルのほか、自転車やテレビ、風呂の浴槽といった大型のごみもありました。河川環境を守るためには一人ひとりの心掛けが大切です。



太田川河川事務所も参加した清掃の様子

## 防災意識をみんなで高める 安佐南区防災訓練・防災フェアに参加

11月21日、安佐南区全域が地震により壊滅的な被害を受けたことを想定し、自主防災会連合会、企業、広島市をはじめとする行政機関など防災関連団体が一体となつて防災訓練を実施しました。太田川河川事務所では降雨体験機を設置し、時間雨量100mmの降雨を体験していただいたり、リアルタイムで雨量や川の水位がわかる「川の防災情報」のホームページのPRなどを行いました。



降雨体験機



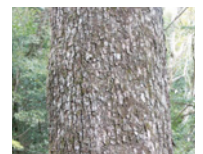
太田川・小瀬川の雨量や水位の情報は、太田川河川事務所のホームページより、こちらをクリックしてご覧になれます。

## 広島西部山系植生図鑑

その8

種名 **モミ**

科名 マツ  
タイプ 常緑高木



開花と実のなる時期 花 実 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

クリスマス・ツリーでおなじみの木です。宮島では海拔の低いところでも生育していますが、一般に広島西部山系では、弱冠海拔の高いところで見られ、ツガやアカガシとともに、鎮守の森を構成しています。円すい形の樹形をいかして、避雷針として人家のそばに植栽されたりもしたようです。高さ25~40mにもなる常緑高木です。葉は線形で、先端はわずかにへこみます。

ホームページに「広島西部山系植生図鑑」を掲載しています。

太田川河川事務所

検索

